

第 2 次浜松市環境基本計画の令和 3 年度進捗状況について

環境政策課

1. 第 2 次浜松市環境基本計画の概要

浜松市環境基本計画は、浜松市環境基本条例第 9 条の規定に基づき、「環境の保全及び創造に関する基本的な計画」として定めたものです。2008（H20）年に「第 1 次浜松市環境基本計画」を策定しました。その後、社会情勢の変化に対応するため、2015（H27）年に策定した「第 2 次浜松市環境基本計画」は、2019（R1）年度に計画の見直しを経て、「第 2 次浜松市環境基本計画（改定版）」となり、現在はこれに基づいて様々な環境施策を実施しています。

また、当計画では、浜松市総合計画を踏まえ、2045（R27）年を見据え、『豊かな自然の恵みを未来へ「ツナグ」環境共生都市』を環境の将来像として掲げ、その実現に取り組んでいます。

2. 第 2 次浜松市環境基本計画の達成度

第 2 次浜松市基本計画では、2024（R6）年を目標年度とし、5 つの基本方針に基づき、施策の進捗を管理しています。

令和 3 年度においては、5 つの基本方針のうち、3 つの指標において目標を達成しています。

基本方針 1 健康で安全な生活環境を保全する都市

(1) 主な施策

大気汚染対策、水質保全対策、有害化学物質対策 など

(2) 2021（R3）年度に実施した主な取り組み

- ・雨水浸透ます設置補助金の補助対象事業として、佐鳴湖上流域に 27 基の雨水浸透ますを設置
- ・負担金交付先である佐鳴湖地域協議会の活動にて、環境美化ネットの維持管理や佐鳴湖ヨシ刈り等の事業を実施

(3) 環境指標

指標	2013（H25） 実績値	2021（R3）				2024（R6） 目標値
		目標値	実績値	達成率	進捗状況	
佐鳴湖の COD （化学的酸素要求量）*1 5 年移動平均値	7.6mg/L	8mg/L 以下	7.3mg/L	110%	○	8mg/L 以下

*1 COD（化学的酸素要求量）：水質の指標の一つ。一般的に、有機物が多く水質が悪化していると数値が高い。

- ・現時点で目標を達成
- ・今後は、佐鳴湖水環境向上行動計画（第二期）に基づき、市民活動の支援を強化

基本方針 2 資源を有効に活用する循環型都市

(1) 主な施策

一般廃棄物の減量とリサイクルの推進、産業廃棄物対策、海洋プラスチックごみ対策

(2) 2021 (R3) 年度に実施した主な取組み

- ・浜松市環境審議会において家庭ごみ有料化制度について審議を行い、令和 3 年 10 月に答申。これを受け、市において具体的な検討を実施
- ・生ごみ減量の推進のため、474 世帯に生ごみ堆肥化容器を無料配布し、159 世帯に生ごみ処理機購入費補助金を交付

(3) 環境指標

指標	2013 (H25) 実績値	2021 (R3)				2024 (R6) 目標値
		目標値	実績値	達成率	進捗状況	
一人 1 日当たりの 一般廃棄物排出量*1	897.7g	857.4g (40.3g 削減)	819.8g (77.9g 削減)	193% (R6:165%)	○	850.5g

*1 可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、集団回収等の総量を指す。

- ・2021 (R3) 年目標を達成し、現時点で 2024 (R6) 年最終目標も達成
- ・目標値達成の要因は事業系ごみの大幅な減少であり、この減少は令和 2 年度から見られ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で社会経済活動が停滞したことによるものと考えられる
- ・今後、社会経済活動の回復による事業系ごみの増加が予想されるため、引き続きごみ減量施策に取り組む

基本方針 3 気候変動に適応しエネルギーを効率的に利用する都市

(1) 主な施策

再生エネルギーなどの導入、地球温暖化対策の計画的な推進、気候変動に対する適応 など

(2) 2021 (R3) 年度に実施した主な取組み

- ・次世代自動車の普及啓発のため、FCV を用いたイベントを 6 回実施
- ・市内高等学校 4 校の生徒代表による「STOP 温暖化若者会議 2021」を開催 (約 50 人参加)
- ・地球環境保全貢献事業の一環として、市有施設の 32 施設にて LED 照明導入、協働センター 34 施設に太陽光発電設備・蓄電池導入

(3) 環境指標

指標	2013 (H25) 実績値	2019 (R1)				2024 (R6) 目標値
		目標値	実績値	達成率	進捗状況	
市域の温室効果ガス 排出量の削減目標	基準年排出量 5,724.6 千t-CO2	789.9 千t-CO2 (13.6%削減)	1,416.6 千t-CO2 (24.7%削減)	179% (R6:100%)	○	1,413.9 千t-CO2 (24.7%削減)

- ・2019 (R1) 年目標を達成し、現時点で 2024 (R6) 年最終目標も達成
- ・国による温室効果ガス排出削減目標引き上げに伴い、現在「浜松市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)」の見直しを行っており、令和 5 年度に計画改定を行う予定
- ・今後、家庭での温暖化対策の推進や市民の省エネ意識の高揚を図り、省エネに配慮したライフスタイル・ビジネススタイルを定着させていくことが必要

基本方針4 多様な環境と人々の暮らしが共存する都市

(1) 主な施策

生物多様性の保全、森林・農地・緑地の保全 など

(2) 2021 (R3) 年度に実施した主な取り組み

- ・「生物多様性はままつ戦略」に基づき、生物多様性保全にかかる事業を実施した（別途報告）。
- ・「市民の森」指定地の土地所有者への報償金支払（1㎡あたり40円）
- ・特別緑地保全地区／緑地保全地域／風致地区の指定候補地27地区中19地区の現況を把握し、候補地区区域図面へ反映

(3) 環境指標

指標	2013(H25) 実績値	2021 (R3)				2030(R12)*3 目標値
		目標値	実績値	達成率	進捗状況	
緑地保全面積*1	1,373.62ha	—*2	1,373.25ha	(R12:69%)	(×)	1,977.66ha

*1 主として緑地の保全を目的とした法規制・条例により担保された緑地（特別緑地保全地区・風致地区・生産緑地地区・市民の森）の面積

*2 年度毎の目標値を設定していないため、—にて表記。達成率は2030(R12)目標値比。

*3 緑の基本計画は、令和3年度に改定を行い、計画期間を2021(R3)年度から2030(R12)年度としている。

- ・現時点で2030(R12)年最終目標に対する達成率は69%
- ・市民の合意に基づく「市民の森」について、より担保性の高い地域制緑地としての指定に向けた段階的な移行を目指している
- ・地域制緑地の指定には、市民の合意形成を図りながら各緑地の現況を把握し指定内容を具体化する必要があるため、現地調査を実施し、データ整理と情報収集を進める

基本方針5 環境活動を実践する人が育つ都市

(1) 主な施策

環境教育、環境情報の発信 など

(2) 2021 (R3) 年度に実施した主な取り組み

- ・環境やSDGsの取り組みを認知してもらうため、10秒～3分程度の14本のYouTube広告動画を配信（表示回数約762万回のうち、約571万回の視聴あり）
- ・海洋プラスチックごみを題材とした環境劇「海のこえがきこえる」を市内の小学校8校にて上演（児童1,010人が鑑賞）

(3) 環境指標

指標	2014(H26)*2 実績値	2021 (R3)				2024 (R6) 目標値
		目標値	実績値	達成率	進捗状況	
環境に配慮した行動や活動をしている市民の割合*1	55.1%	—*3	37.6%	(R6:57%)	(×)	67%

*1 市民意識調査によるごみ減量、節電、リサイクルなど環境に配慮したくらしを実践する市民の割合。

*2 生物多様性はままつ戦略が2014(H26)年に策定されたことによる。

*3 年度毎の目標値を設定していないため、—にて表記。達成率は2024(R6)目標値比。

- ・現時点で2024(R6)年最終目標の達成率は57%
- ・移動環境教室などの環境学習会を通じて、自ら行動できるように若い世代を啓発し、環境に配慮した行動の意識付けを図る